

第3回会議の主な意見と回答

資料1

議事（1）第2回策定検討会議の意見に対する回答

No	委員名	意見等抜粋	資料の追加・修正	回答
●回答について				
1	川淵委員	資料4 第8期まで掲載のあった、包括センターのエリアごとの評価がなくなった原因が今の説明でいいのかどうか。あえて載せない意図を知りたい。	なし	第8期では、各包括支援センターの評価については介護予防事業の改善率で行っていましたが、本来の地域において経年比較するという主旨が十分に伝わっておらず、各センター間の比較対象となっていた側面がありました。そのため、エリアごとの評価は掲載しないことといたしました。各センター毎の評価としては、地域ケア推進会議の中で評価・共有します。一方で地域毎の特性は示す必要があるため、第2章第4節の地域の実態・課題の中でお示ししています。
2	関塚委員	包括ごとの評価を記載しないのは地域特性をはっきりさせたくないということか？	なし	

議事（2）計画推進のための施策の修正について

1. 高齢者の生きがいと社会参加への支援（前回資料2）				
No	委員名	意見等抜粋	資料の追加・修正	回答
●表記について				
3	山口委員	資料2 「チームオレンジ」の内容は1-4のP11と3-1のP3と同じような内容があるが、どちらにも載せるのか。	なし	同じサービスで複数の事業に関わるので、再掲で掲載したいと考えています。
4	村山会長	資料2 P8～のシルバー人材センターの支援とP6あたりのICTを活用した有償・無償ボランティアの仕事の推進というところがある。新旧の方法がうまく共生できるように考えてほしい。	あり	高齢者の社会参加を支える既存の団体については、活性化を図るために就労的活動支援コーディネーターの活用を考えていますので、追記しました。
5	村山会長	資料2 1 高齢者の生きがいと社会参加のところで、仕事とかの切り口もあれば男性が行きやすいということもあると思う。そういう活動が実を結び、高齢男性の社会参加してもらえればいい。	なし	女性と比較した男性の社会参加率の低さに触れて、ジョブポララの参加を推進するとの記載ができると考えられますが、前段の説明が長くなってしまうので、第8期計画の課題をまとめる際に掲載を検討します。
●指標関係について				
6	村山会長	資料2のP1の活動指標、いずれかの社会参加に参加していると回答した人の割合とあるが、社会活動の範囲の明記してほしい。	あり	社会参加の項目について追加しました。
7	峯委員	資料2 1P 1-1 高齢者の社会参加の推進の表中「地区社会福祉協議会の活動参加者数」と限定した表記にしてしまうと地区社協側も苦しくなるし、何より地域における社会参加とは地区社協活動のみではないと思われる。数の把握等は困難だと思うので、項目としての変更、削除も含めご検討いただければと思う。	なし	生活支援コーディネーターの業務内容に「地区社会福祉協議会等の設立・運営支援」および「生活支援体制づくりのためのコーディネート」があるため、地区社会福祉協議会の活動がその目的に資する活動であることを表すために目標として設定しました。活動参加者数については、数の把握は可能と伺っています。
8	大夢賀副会長	資料2 指標に地区社協の活動数について、地域福祉計画の方で地区社協活動をモニタリングしていると思うので、地域支援事業のお金を投下しているという文脈において、「ちょい足し」「ACP講座」といった活動実績数といった目標を明確にした指標のほうがいい気もする。	なし	「ちょい足し」事業は、社会参加の一つの形であると認識していますが、第2節介護予防に位置づけられているので、「社会参加」の指標にはいたしません。「ACP」は地区社会福祉協議会の活動内で実施していますので、活動参加者数に含まれます。

●その他

2. きめ細かな介護予防の推進（前回資料3）

No	委員名	意見等抜粋	資料の追加・修正	回答
●表記について				
9	山口委員	資料3 P7とP9で内容が重なる部分があり、このまま載せるのか聞きたい。少し字が小さいし、もう少し見やすくならないか。	あり	P7の図を修正しました。
10	川淵委員	資料3 P13の図に、生活支援体制だったり、生活支援コーディネーターという記載を入れていただくことは可能かと思う。和光市の包括ケアはこのように回っているということをもとめて、可視化していただいたほうがわかりやすいと思う。	あり	資料3 P13にはすでに「生活支援体制整備事業」について記載されていますので、図表は訂正しませんが、＜施策の方向性＞の中に、追記しました。地域ケア推進会議内で対応していきたいと考えています。
11	大夢賀副会長	資料3 2-1で総合事業の実績や目標などの具体的な数値があげられている。私が知りたいのは、全体のデザインとして充足しているのか、地域格差はないのか、そういったビジョンが見えてこない。その辺りはどこかに書き込まれているのか？	あり	全体のデザインとして充足しているのか等ついて、6頁 ④一般介護予防事業評価事業 に追記しました。

3. 高齢者の暮らしを支える仕組みの充実（前回資料4）

No	委員名	意見等抜粋	資料の追加・修正	回答
●表記について				
11	山口委員	資料4のP6の「養護者」の意味はこれでわかるのか？施設職員でなく、家族でみている方という意味がわかるか？	あり	養護者についての補足を追加
●情報提供				
12	大夢賀副会長	情報提供になる。資料4のP15の包括ごとの評価指標は国のインセンティブ交付金の活動指標として令和6年度から始まった。この指標は今後変わると思う。この活動指標を足して市全体の評価とするのは無意味であると思います。センターごとの指標の公表の有無はメリット・デメリットがあり、配慮の必要もあるかと思う。大事なものを市で管理し、包括センター運営会議のような場で公表し、各センターの能力向上できるように一緒に考えているかということ。そういうことをケア会議でしっかりやってほしい。	あり	センター毎の指標につきましては、計画には記載しない方向ですが、市で管理することや包括支援センターとの共有、各センターの能力向上については、積極的に取り組んでいきたいと考えています。そのため、これらの取組みは地域ケア推進会議の中で実施していくため、追加記載しました。

議事（3）計画推進のための施策（後半）※第4節 介護保険サービス提供体制の整備

4. 介護保険サービス提供体制の整備（資料5）				
No	委員名	意見等抜粋	資料の追加・修正	市の考え方
●表記について				
13	峯委員	4-1介護人材の確保・育成について、人が一番重要。P2（3）の働きやすい職場環境の整備で、精神的な負担が大きい。ハラスメント部分で苦慮している。ハラスメントに関する部分は、働きやすい職場環境の整備に載せる文言かと思う。	あり	ハラスメント対策についての内容を追加しました。

14	川淵委員	P3の4-2重層的支援体制の強化で、複合的な支援の人数やその仕組みなど、数値化できるとわかりやすいと思う。障害者福祉との連携ということで、課同士の連携状況など、具体的にあったほうがわかりやすいと思う。	なし	複合的な支援の取組状況や関係部署との連携について、現状の課題などしっかりと検討していく必要がありますので、本計画での具体的な掲載は見送り、次期計画中に具体的な事業として掲載できるよう、推進します。
15	大冨賀副会長	P3の4-2重層的支援体制の強化で、重層的支援体制、包括的な支援体制との記載があり、意図的に使い分けているのならそのほうがいい。また、地域づくり事業では、高齢、障害、生活困窮、子どもの居場所づくりを縦割りをなくした展開が求められると思うので、今後そういったところも検討していただきたい。	あり	重層的な支援体制は包括的な支援体制を構築するための行う体制事業であり、そのような表現に修正しました。また、「地域づくり事業」は、他の分野・地域福祉計画と協議・調整も必要なため、今回は「重層的な支援」のみの表現としています。
16	大冨賀副会長	P3の4-2介護保険サービス事業所に関する指導検査の強化とあるが、「指導監査」のほうがいいと思う。	あり	修正しました。

議事（4）サービス基盤整備方針の考え

1. 第9期の介護サービス基盤整備の考え（資料6）

No	委員名	意見等抜粋	資料の追加・修正	市の考え方
17	大冨賀副会長	大きな施設が建つということなら、地域の拠点になってもらえるよう、また看取りをしっかりと行ってもらえるようなやり取りができるといいと思う。	なし	第9期計画期間中に公募する際の条件として、検討します。
18	川淵委員	特養ができると助かる人もたくさんいる反面、ぎりぎりのラインの人の入居費用も想定し、調整してもらいたい。	なし	
19	山口委員	有料老人ホームができて、市民枠に限られている現状がある。新しい施設ができるというのなら、地域住民とも連携が取れるような施設になったらいい。	なし	

議事（5）その他

No	委員名	意見等抜粋	資料の追加・修正	市の考え方
20	大冨賀副会長	施策全体 指標は全体的にあまり～を何回というアウトプットはそれがいいことかわからないので、指標に掲げないほうがいい気がする。	なし	可能な限りアウトカム評価となる指標を掲げたいと考えておりますが、事務処理などの増加を最小限にするため、指標として把握しやすいプロセスでの指標を掲げています。